

平成 30 年 6 月 19 日

東京電力ホールディングス株式会社
取締役会長 河村 隆 殿
代表執行役社長 小早川 智明 殿

株主 大友 哲

東京電力 HD 株式会社第 94 回定時株主総会に対する質問書

1. 電源接続案件募集プロセスに申し込んだ発電設備の系統連系の時期についてお尋ねします。

山梨県中西部地域では、約 80 件の発電事業者が参加して上位の送電線を増強するための募集プロセスが行われました。昨年の 10 月 10 日に全ての事業者との契約が成立しました。当初 54000kW の申込に対して、最終的に 34000kW が契約となりました。その後の進捗状況はどうなっていますか。工事負担金は全ての参加者から徴収されましたか。私が今回契約して、工事負担金を今年 2 月に支払った完成済みの設備はいったいいつ連系になりますか。

今回増設する送電線の容量は 15 万 kW ですが、それに比較して増加が必要な 34000kW は、ほんの一部にしかすぎません。山梨県北杜市エリアでは、東電と契約した発電設備のうち、完成して稼働しているものは半分以下です。ですから現在の送電線の空き容量はその 34000kW よかなり多くあるのではと思われます。実際に東電の担当者のお話では送電線の空はあるとのことでした。しかし、プロセスに申込した時のルールにより、「送電線の完成以前の連系は出来ない」とのことでした。

そこではございますが、プロセスのルールを変えて、送電線の空があればその完成を待たずに連系できるようにしてもらえませんか。よろしくお願いいたします。

2. Fit 終了後の余剰電力の買取価格についてお尋ねします。

来年の 11 月に、最初に始まった太陽光発電の固定価格買取制度が 10 年目の満期を迎えます。該当する発電所のそれ以降の買取価格についてお尋ねします。東電パワーグリッドでは Fit 以外の買取は行わないとのことですが、東電エネルギーパートナーもしくは、販売子会社で買取は行いますか？また、その買取価格決定方式についてご回答をお願いします。

一部の小売事業者では買取を検討しているようですが、その価格が 1kWh 当たり 6~10 円程度とかなり安くなりそうです。今まで 48 円/kWh で購入されていた電力がそんなに安くなっては考えてしまいます。せめて 1kWh 当たり 15 円以上で購入していただくことを希望します。東電グループとして思い切った高値買取を提示していただきたいと思います。

3. 水力発電による電気料金メニューと太陽光発電との関係についてお尋ねします。

東電の電気料金メニューに水力発電の電気に特化したメニューがあります。いったい何件の契約者がありますか。太陽光発電の設置者がこのメニューを契約する場合に、太陽光発電の余剰電力と水力発電の電力との交換が出来るように検討してください。基本料金が割高でも、使いやすくなり契約者が増えると思われれます。